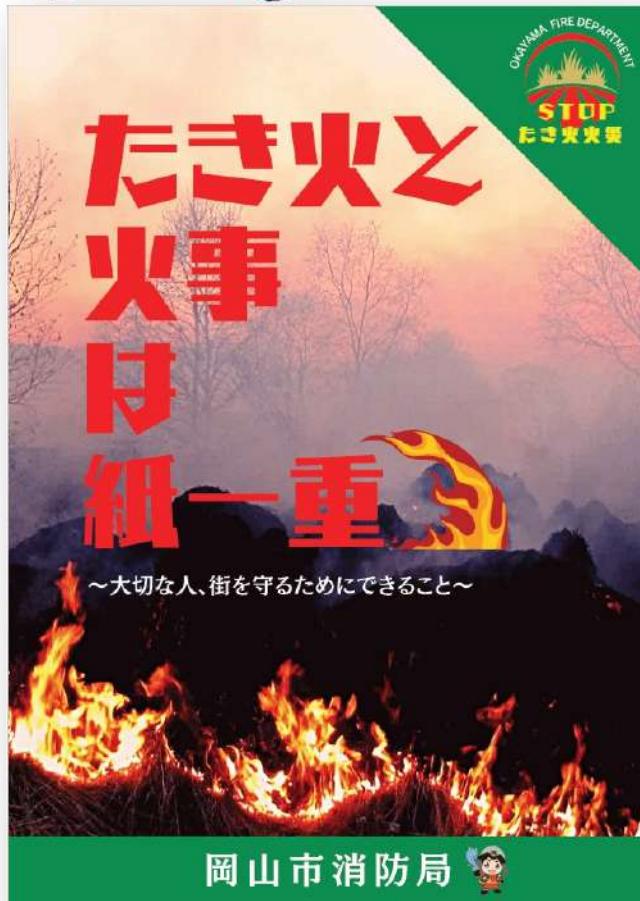




山火事防止



高校生が聞いてみた

- 岡山市の山火事
- 山火事とたたかう
－消火活動の様子
- 山火事予防のために
わたしたちができること

わわたしたちの街と
大切な人を守るために

高校生が 聞いてみた 岡山市の山火事

冬から春にかけては特に山火事がおこりやすい時期です。消防士を志す高校生2人が、岡山市で発生している山火事の状況と、山火事防止の活動について、岡山市消防局の繪面さん・安原さんに取材しました。



- 岡山市では、山火事がどれくらい発生しているのですか？
 - －平成27年から令和6年までの10年間で102件、1年あたり約10件です。全国では例年1,200件前後ですから、岡山市は多い方といえます。

原因は「たき火」が最多

- 主な原因を教えてください
 - －ほとんどが「たき火」からの失火です。「たき火」はすべての火災の原因としてもワースト1位が続いています。また、バーベキューで使う炭火や花火を原因とする山火事も起こっています。



- 他に特徴や傾向はありますか
 - －全体の火災件数は減少傾向ですが、山火事は減っていません。また、岡山県全体でいうと、県北より県南で多く発生しています。

山火事とたかうー消火活動

- 昨年3月に大規模な山火事がありました…

– 令和7(2025)年3月23日に南区で大規模な山火事が発生しました。

消火活動の結果、3月28日に鎮圧、4月11日に鎮火を発表しました。

注:「鎮圧」火の勢いが弱まり、延焼(火災が拡大)しないようコントロールできている状態

「鎮火」完全に火が消え、消火活動を終了する段階



– 乾燥した日が続いたうえ、東寄りの風が強かったため広範囲に燃え広がりましたが、規模を考えると早期に鎮圧・鎮火ができました。消防ヘリの出動や自衛隊との協力がスムーズに行われたことや、玉野市消防本部との管轄を越えた協力、地元の消防団の皆さんとの連携があったからだと思います。

- (右)これは何をしているところですか？

– 消防ヘリからサーモグラフィーを使って高温になっている地点を発見し、降下した航空隊の消防士が、ジェットシャーターで消火しているところです。地上の隊とも協力しながら、ピンポイントで効果的な消火活動を展開することができました。



- 消防団との連携について教えてください



– 消防団の皆さんには、地元の方ならではの知識と経験を活かして、防火・消火活動にご協力いただいています。お寿司屋さんが、白い板前帽子をかぶったままで消火活動にあたる姿を見たことがあります。地域を愛し、地域を守ろうとする心意気に敬服しました。

山火事予防のために ーわたしたちができること

- 山火事を起こさないために、わたしたち高校生ができるることは何でしょうか
ー火災に対する意識を高めることです。

地震や風水害などに対する防災・減災の意識やとりくみは高まってきていると感じますが、火災はどこか他人事になっていないでしょうか。例えば、みなさんのお家では防災バッグなどを準備されているところも多いと思いますが、火災に対する備えはどうでしょう。



ー岡山市消防局では、左のようなチラシを配布して、山火事の主因であるたき火の不始末に対する啓発を行っています。もちろん、今回の取材も、大切な啓発活動だと考えています。

お二人も、これからたき火やバーベキューをすることがあると思います。そのときには、

- ① 周りに燃えやすいものがないかじゅうぶん確認すること
 - ② 決してその場から離れないこと
 - ③ 大量の水で、確実に消すこと
- を忘れないでください。また、周りの人々にも伝えていってください。

【取材を終えて】

- ◆ わたしが住む地域ではたき火をする人をよく見かけるので、山火事の原因の1位がたき火と聞いてとても驚きました。
- ◆ 花火やたき火をするときには、近くに燃えやすいものがないかの確認や、消火用の水を準備するなど、自分でできることを確実におこなうことと合わせて、周りの人にも注意を促していきたいです。



作成 岡山県立岡山工業高等学校
発行 岡山市選挙管理委員会事務局

取材後、2人とも消防士の試験に合格しました！取材経験を活かして頑張ります！